

2020年3月9日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

**「ひふみプラス」の 基準価額下落について**  
**(3月9日基準価額：33,569円 前日比-1,793円、下落率 -5.07%)**

いつもひふみプラスをご愛顧いただきありがとうございます。

本日の日本株式市場は、TOPIXが前日比-82.49ポイント(-5.61%)、日経平均株価が前日比-1,050円99銭(-5.07%)と大幅に下落しました。このような中、ひふみプラスの基準価額も前日比-1,793円(-5.07%)と大きく下落し、お客様にはご心配をおかけしております。

ひふみプラスの基準価額の下落について多くの方にご心配をおかけしていることを、心よりお詫び申し上げます。

現状の株式市場の下落は新型コロナウイルスの感染の世界的広がりによる不確実性の高まりと景気の悪化懸念が背景にあります。日本の景気は昨年の消費税増税や台風、暖冬の影響で落ち込みが広がりつつあったところに新型コロナウイルスの広がりが生じたことで、経済の回復の見通しがつかなくなってきました。中国での新型コロナウイルスの感染は峠を越えつつありますが、韓国・イラン・イタリア・ドイツ・フランスで感染が広がり始め、米国でも感染の勢いが強まりつつあります。

さらにサウジアラビアの原油の増産発表による原油価格の暴落、また日米金利差の縮小による円高などが投資家心理の悪化に拍車をかけて、日本株市場の大幅な下落につながりました。

先の2月度月次運用レポートで報告をしていたとおり、ひふみ投信マザーファンドは純資産総額に占める現金比率を31%まで引き上げて、2,000億円程度の現金を創出しました。そのおかげで下落幅はインデックスより縮小しています。しかしながら7割程度は株式の比率があるので、その部分においてはインデックスの下落の影響を強く受けます。

ただ一方で、それだけ巨額な現金があるので、これから下落をしていく会社に対して買いで向かうことができるのは大きな強みになります。本日のマーケットでも新型コロナウイルスの感染が広がってもびくともしない、むしろ恩恵を受けるような会社の株価でさえも大幅に下がっていたので、そのような会社に対して複数社、買い向かいました。すぐにはその成果が出ませんが、マーケットの状況が落ち着いてきたらお客様にその投資成果を還元できると期待しています。

これからマーケットが下落をしてきたら、わたしたちはすばらしい会社を驚くべき割安な価格で投資をすることができます。そういった意味ではこれからの下落市場はむしろ大きなチャンスになります。日本最大の日本株中心アクティブ投信が最大規模の現金を持っているというのはよいニュースである

と思います。

残念ながらわたしたちがマーケットを上げたり下げたりすることはできません。ただわたしたちの一番のチカラはすばらしい会社を発掘して、それに投資をできることです。マーケットが下がることそのものは大きな痛みを伴いますが、一方ですばらしい会社に割安な価格で投資をできる大チャンスでもあるのです。

市場の変動に伴いひふみプラスの基準価額も短期的には変動をするのでお客様にはご不安をおかけしますが、社員一同全力で運用をしていきますので、なにとぞひふみプラスおよびレオス・キャピタルワークスをよろしく願いいたします。

レオス・キャピタルワークス株式会社  
代表取締役社長  
最高投資責任者  
藤野 英人

## 「ひふみプラス」に係るリスクについて

「ひふみプラス」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみプラス」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### ◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：申込金額に対する手数料率は 3.30% (税抜 3.00%) を上限として、販売会社が定める料率とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次の通りです。

信託報酬	信託財産の純資産総額 500 億円まで：年率 1.0780% (税抜 0.980%) 信託財産の純資産総額 500 億円を超える部分：年率 0.9680% (税抜 0.88%) 信託財産の純資産総額 1,000 億円を超える部分：年率 0.8580% (税抜 0.78%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率 0.0055% (税抜 0.005%) (なお、上限を年間 88 万円 (税抜 80 万円) とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税)先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

- ・ 本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家のみなさまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・ 本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1151 号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会